

LDR-CA880F/M V01

FireWire DVD \pm R/RW UNIT

LDR-CA880F/M

FireWire DVD \pm R/RWユニット for Macintosh

ユーザーズマニュアル

Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	5
ご注意	5
付属品の確認	6
第1章 ご使用の前に	7
1.1 製品の特徴	7
1.2 使用可能なメディア	8
1.3 使用上のご注意	10
1.4 各部の名称	11
1.5 設置方向について	12
第2章 接続とインストール	13
2.1 ソフトウェアのインストール	13
2.1.1 Mac OS X 環境の場合	13
2.1.2 Mac OS 9.2 ~ 9.2.2 環境の場合	16
2.2 接続の手順	19
2.3 接続結果の確認	20
第3章 取り扱いについて	21
3.1 メディアのセット/取り出しについて	21
3.2 本製品を取り外す場合は	23
第4章 補足事項	24
4.1 トラブルシューティング	24
4.2 使用環境について	26
4.3 FireWire 機器の増設について	29
ハードウェア仕様	31



取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
 注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かしに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

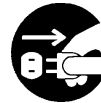


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

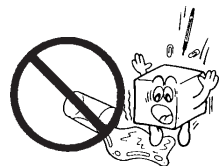
万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



内部に異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



⚠ 警告

分解 / 改造しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。
分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で使用してください。

電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



ACアダプタを大切に。

ACアダプタのコードは破損しないように十分ご注意ください。
コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、
被服が破れて感電 / 火災の原因となります。



水場で使用しないでください。

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、
湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しな
いください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



濡れた手で触らないでください。

本製品を濡れた手で触ると感電・故障の原因となります。



本製品内部のレーザー光線を直視しないでください。

本製品はレーザー光線を使用して記録型メディアへの書き込み、読み込
みを行います。この光線が直接目にあると視力障害を及ぼす恐れがあ
りますので、本製品の起動中に内部を除いたり、分解した状態で電源を
入れたりしないでください。



本製品を小さなお子様の手の届く場所へ放置しないでください。

機器を損傷する可能性があるだけでなく、お子様がケガをする危険があ
ります。



⚠ 注意

ACアダプタのコードはなるべくコンセントに直接接続してく
ださい。

タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因とな
ります。



ACアダプタのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。

束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。





注意

本製品の稼動中にACアダプタのコードやケーブル類を抜かないでください。
データの損失、機器の故障の原因になります。



その他の
禁止事項

通風孔はふさがらないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。



その他の
禁止事項

高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。



その他の
強制事項

本製品で使用するメディアに関しては、購入したメディアの取扱説明書等に従って正しい取扱いをしてください。傷がついたり折れ曲がったメディア等を本製品で使用すると故障の原因となります。



その他の
注意事項

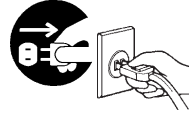
注意

電源スイッチを一度OFFにした時は5秒以上たってから「ON」にしてください。

1・2・3・4・5



本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いておいてください。



本製品を使用して、オーディオCDを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害を発生する場合があります。



その他の
禁止事項

映像や音楽作品は著作権法の保護を受けています。本製品のご使用にあたっては、著作権法で定められた範囲を逸脱しないように十分ご注意ください。本製品で変換/保存した映像や音楽作品は、個人的な環境で私的使用する場合以外、著作権者本人の許諾無く使用する事は、著作権法で固く禁じられています。違法なコピーは絶対に行わないでください



その他の
注意事項

ごあいさつ

この度は弊社 DVD ± R/RW ユニットをお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は DVD ± R/RW ユニットに関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社 DVD ± R/RW ユニットによって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

CD-ROM/DVD-ROM ソフトウェアの内容の多くは、著作権法の保護を受けています。運用にあたっては著作権法で許可された範囲を逸脱しないようご注意ください。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* Macintosh、Mac OS は米国アップルコンピュータ社の商標です。Toast® の名称及びロゴは米国ロキシオ社の商標です。その他本書に記載されているパソコン本体およびその他の機器の名称は併記されている各社の商標または登録商標です。

付属品の確認

DVD±R/RWユニット	1台
FireWireケーブル (IEEE 1394) (6ピン×6ピン)	1本
ACアダプタ	1個
横き用ゴム足	1セット
縦置き用スタンド	セット
「Toast 6 Lite (Mac OS X環境用)」CD-ROM	1式
「Toast 5 Lite (Mac OS 9環境用)」CD-ROM	1式
保証書 / ユーザー登録カード	1枚
DVD±R/RWユニット・ユーザーズマニュアル	本書

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

第1章

ご使用の前に

1.1 製品の特徴

本製品はMacintoshに対応したFireWire接続タイプのDVD±R/RWユニットです。本製品の主な特徴は以下のとおりです。

DVD+R、DVD-Rメディアへの8倍速書き込み、DVD+RW、DVD-RWメディアへの4倍速書き換えに対応しています。また、DVD-RAMメディアの読み込みにも対応しています。

DVD+Rメディアへの8倍速書き込みには、下記メーカーの高速記録対応メディアが必要です。ソニー、太陽誘電(That's)、日立マクセル、三菱化学メディア、リコー

DVD-Rメディアへの8倍速書き込みには、下記メーカーの高速記録対応メディアが必要です。ソニー、太陽誘電(That's)、TDK、日立マクセル、三菱化学メディア

ライティングソフトウェアにロキシオ社製の「Toast 6 Lite」(Mac OS X環境用)と「Toast 5 Lite」を付属しています。

DVD+R、DVD-Rメディアへの8倍速書き込み時は、メディアの内周から外周の間を複数のゾーンに分け、6倍速から8倍速へと段階的に書き込み速度をあげる「Zone CLV方式」を採用しています。

市販DVDビデオタイトル(CSS対応のもの)の再生時には、自動的に回転速度を2倍速～5倍速にして騒音の発生を抑える「静音機能」を搭載しています。

メディアの反りや厚みのばらつきによる書き込み精度の低下を解消し、高精度の書き込みを実現する「液晶チルト」機構を搭載しています。

記録回路をピックアップ上に搭載することで高速書き込み時の記録品質を大幅に向上する「スマートレーザードライバ技術」や高速回転時の機械振動を大幅に低減する「Ultra DRA (Dynamic Resonance Absorber) 技術」等を採用しています。

データCD-ROMアクセス時には、最大40倍速のCD-ROMドライブとして使用することができます。また、CD-Rメディアには最大24倍速で書き込み、CD-RWメディアには最大24倍速で書き換えが行えます。

1.2 使用可能なメディア

本製品は以下のメディアが使用可能です。

DVD メディア

メディア名		容量	書き込み速度	読み込み速度
DVD+ R		4.7 GB	8/6/4/2.4 倍速	最大 8 倍速
DVD+ RW		4.7 GB	4/2.4 倍速	最大 8 倍速
DVD- R ver. 1.0		3.95 GB	-	最大 2 倍速
DVD- R for Authoring Ver. 2.0		4.7 GB	-	最大 2 倍速
DVD- R for General Ver. 2.0		4.7 GB	8/6/4/2 標準速	最大 8 倍速
DVD- RW Ver. 1.1		4.7 GB	4/2/標準速	最大 8 倍速
DVD- Video (CSS 有り)		-	-	最大 5 倍速
DVD- ROM single		4.7 GB	-	最大 12 倍速
DVD- ROM dual		8.7 GB	-	最大 8 倍速
DVD- RAM Ver. 1.0	片面	2.6 GB	-	-
	両面	5.2 GB		
DVD- RAM Ver. 2.1 (8cm ディスク含む)	片面	4.7 GB、1.4 GB	-	最大 2 倍速
	両面	9.4 GB、2.8 GB		

書き込みの際には、書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したメディアをご使用ください。

DVD-RAM メディアは読み込みのみ対応しています。また、カートリッジに入った DVD-RAM メディアは使用できません。カートリッジから取り出してご使用ください。

CSS 無しの DVD-Video の読み込み速度は最大で 12 倍速になります。

8cm メディア使用時に市販の 8cm アダプタを使用しないでください。



ご注意

Macintosh 環境では、Mac OS の仕様により DVD+R メディアを使用可能な環境は Mac OS X 10.3 以降のみとなります。

特色

- DVD-R : 一度だけ書き込みが可能なDVDメディアです。いったん書き込んだデータは消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
- DVD-RW : 書き込みや書き換えが可能なDVDメディアです。(約1,000回の書き換えに対応しています。)
- DVD+R : 一度だけ書き込みが可能なDVDメディアです。いったん書き込んだデータは消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
- DVD+RW : 書き込みや書き換えが可能なDVDメディアです。(約1,000回の書き換えに対応しています。)
- DVD-ROM : 読み込み専用のメディアです。
- DVD-Video : 動画と音声をデジタルで記録した読み込み専用メディアです。
- DVD-RAM : 繰り返しデータの書き込みが可能なメディアです。本製品では読み込みのみに対応しています。

CDメディア

メディア名	書き込み速度	読み込み速度
CD-R	24 / 16 / 8 / 4 倍速	最大 40 倍速
CD-RW	24 / 16 / 10 / 4 倍速	最大 32 倍速
CD-ROM	-	最大 40 倍速

書き込みの際には、書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したメディアをご使用ください。

特色

- CD-R : 一度だけ書き込みが可能なメディアです。いったん書き込んだデータは消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
- CD-RW : 書き込み、書き換えが可能なメディアです。
- CD-ROM : 読み込み専用のメディアです。パソコンのソフトウェアから音楽CDまで、幅広い用途で使用されています。

1.3 使用上のご注意

- 本製品はDVD+Rメディアへの書き込み・読み込みに対応したドライブを採用しておりますが、Mac OS X 10.2.8以前の環境では、記録されたデータを読み込むことができません。
- 市販されているDVDビデオタイトルをバックアップすることはできません。
- 市販のDVDプレーヤーの中には、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアに対応していないものもあります。本製品で作成したDVDビデオが再生可能かどうかは、ご使用のDVDプレーヤーの取扱説明書をご参照ください。
- DVDメディアにはラベル等を貼付しないでください。メディアが偏重心を起こし、正常に読み込めなくなる場合があります。
- 本製品で作成するDVDビデオのリージョンコードは「ALL」となります。また、本製品はフェーズ2仕様のドライブであるため、本製品で再生できるDVDビデオは、リージョンコード「2」を含むもの、もしくは「ALL」のものに限定されます。
- FireWireはメーカーによって「IEEE1394」、もしくは「i.LINK」と呼ばれることがありますが、全て同じものをさします。本書ではFireWireと呼称を統一します。
- Mac OS 9の環境ではDVDビデオの作成を行うことはできません。
- Toast 6 Liteで作成するDVDビデオには、登録できるタイトルは2つまでに制限されます。
- Windows環境などでフォーマットされた、UDF 2.0のDVD-RAMメディアを読み込むことはできません。
- SuperDrive / コンボドライブ / DVD-ROMドライブのいずれかが搭載されていない機種の場合、DVDビデオの再生を行うことはできません。
- DVDレコーダで録画したDVD-RAMメディアおよび、VRモードで録画されたDVD-RWメディアも、読み込むことはできません。

1.4 各部の名称

本製品前面



シャッター

メディアをセットするトレイが格納されています。

イジェクトボタン

トレイの出し入れに使用します。

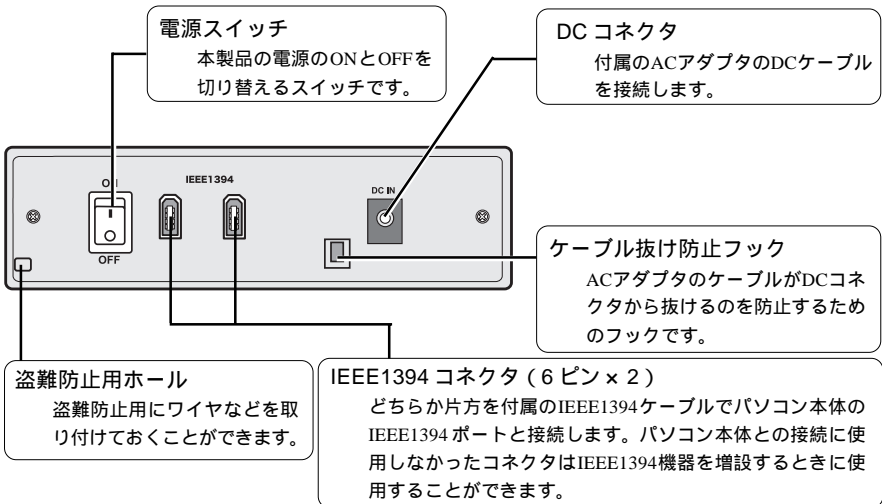
電源表示ランプ (左側)

本製品の電源がONになると青色に点灯します。

アクセス表示ランプ (右側)

:メディアアクセス時、緑色に点灯・点滅します。

本製品背面



電源スイッチ

本製品の電源のONとOFFを切り替えるスイッチです。

DC コネクタ

付属のACアダプタのDCケーブルを接続します。

ケーブル抜け防止フック

ACアダプタのケーブルがDCコネクタから抜けるのを防止するためのフックです。

盗難防止用ホール

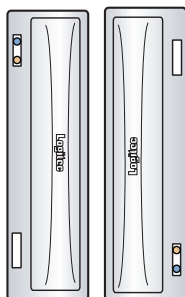
盗難防止用にワイヤなどを取り付けておくことができます。

IEEE1394 コネクタ (6ピン×2)

どちらか片方を付属のIEEE1394ケーブルでパソコン本体のIEEE1394ポートと接続します。パソコン本体との接続に使用しなかったコネクタはIEEE1394機器を増設するときを使用することができます。

1.5 設置方向について

本製品は縦置き、横置きのどちらでも使用することができますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。間違った方向で設置すると、トラブルの原因となる場合があります。



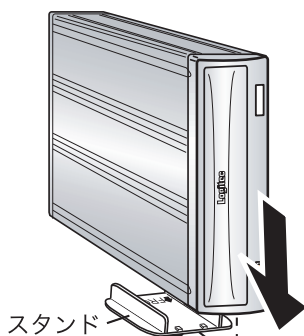
縦置きの場合

縦置きでご使用の場合、どちらの方向でも設置可能ですが、この場合は8cmディスクは全て使用できません。ご注意ください。



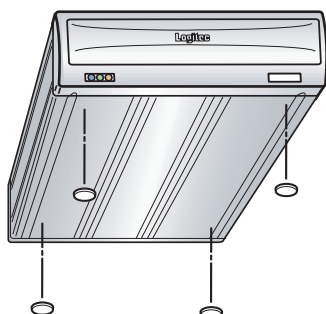
横置きの場合

縦置きの場合は、設置時、付属のスタンドをご使用ください。（下左図）
横置きの場合は、底面の4箇所に付属のゴム足を貼付してください。（下右図）



突起がある部分を前にしてください。

先の部分から約3cm程の所に設置すると安定します。



ゴム足

第2章 接続とインストール

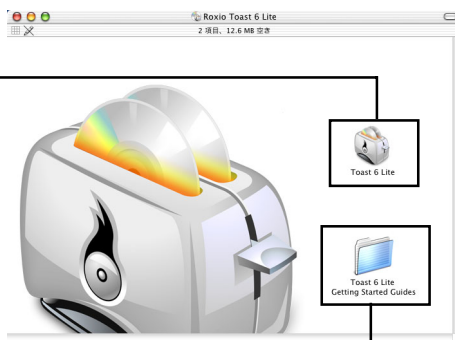
2.1 ソフトウェアのインストール

2.1.1 Mac OS X 環境の場合

本製品を接続する前に以下の手順で、付属の「Toast 6 Lite」をインストールしてください。

- 1 Macintosh のシステムを起動して、CD-ROM ドライブに本製品付属の「Toast 6 Lite」CD-ROM をセットしてください。
- 2 デスクトップにマウントされたCD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。
- 3 以下の画面が表示されます。「Toast 6 Lite」と書かれたアイコンを、起動ドライブの「アプリケーション」フォルダにドラッグ&ドロップしてください。

このアイコンを起動ドライブの「アプリケーション」フォルダにドラッグ&ドロップ



参考：

Toast 6 Lite の使用方法はこのフォルダ内に保存されている「Toast 6 Lite クイックスタートガイド」をご参照ください。

2.1 ソフトウェアのインストール

2.1.1 Mac OS X 環境の場合

4 起動ドライブの「アプリケーション」フォルダにコピーした「Toast 6 Lite」をダブルクリックして、Toast 6 Lite を起動してください。

5 ウィザードが起動しますので、内容を確認しながら「続ける」ボタンをクリックしてください。

内容を確認し、「続ける」
をクリック

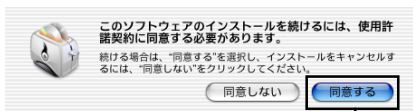


6 6-1 「エンドユーザー使用許諾契約書」が表示されますので、内容ご熟読の上、「続ける」ボタンをクリックしてください。

内容を確認し、「続ける」
をクリック



6-2
同意確認の画面が表示されます。「同意する」をクリックしてください。



「同意する」をクリック

「同意しない」ボタンをクリックした場合には、Toast 6 Lite はそのまま終了してしまいます。

- 7 「ユーザー登録」画面が表示されますので、内容確認後、「続ける」ボタンをクリックしてください。

1. 内容を確認し、修正する場合は「内容をアップデートする」ボタンをクリック

2. 「続ける」ボタンをクリック



「登録をアップデートする」ボタンをクリックして、登録内容を変更することができます。

- 8 「デジタルハブ」画面が表示されます。「ブランク CD を挿入した後、Toast を立ち上げる」「ブランク DVD を挿入した後、Toast を立ち上げる」にチェックが入っていることを確認し、「続ける」ボタンをクリックしてください。

1. チェックが入っていることを確認

2. 「続ける」ボタンをクリック



両方にチェックが入っていると、ブランクのDVD/CDメディアをセットした際に、自動的に Toast 6 Lite が起動するように設定されます。必要のない場合はチェックを外します。

Point ポイント

ここで行った「デジタルハブ」設定は、「システム環境設定」内「ハードウェア：CD と DVD」で変更することが可能です。

2.1 ソフトウェアのインストール

2.1.1 Mac OS X 環境の場合

- 9 「Toast 6 Titanium」画面が表示され、設定は終了になります。「終了」ボタンをクリックすると Toast 6 Lite が起動し、DVD/CD メディアへの書き込みが可能になります。



終了ボタンをクリック

以上でソフトウェアのインストールは終了です。いったん Toast 6 Lite を終了し CD-ROM をドライブから取り出しておいてください。次に本製品の接続を行います。「2.2 接続の手順」へお進みください。

Point

ポイント

「Toast 6 Lite」を Dock に登録しておけば、簡単にアプリケーションを起動させることが可能です。

2.1.2 Mac OS 9.2 ~ 9.2.2 環境の場合

本製品を接続する前に以下の手順で、付属の「Toast 5 Lite」をインストールしてください。

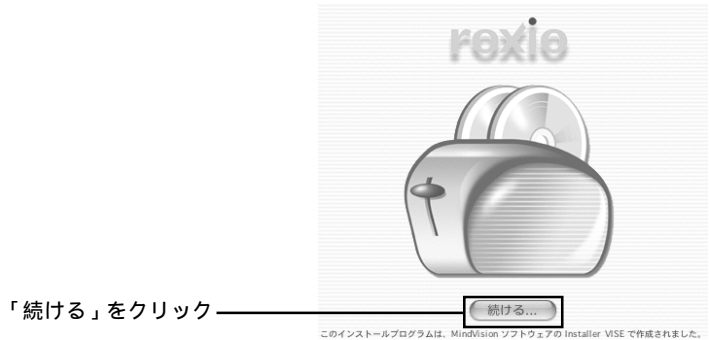
- 1 Macintosh のシステムを起動して、CD-ROM ドライブに本製品付属の「Toast 5 Lite」CD-ROM をセットしてください。
- 2 デスクトップにマウントされた CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

- 3 右の画面が表示されます。「Toast Lite x.x.x Installer」と書かれたアイコンをダブルクリックしてください。



x.x.x.の部分にはソフトウェアのバージョンが表示されます。

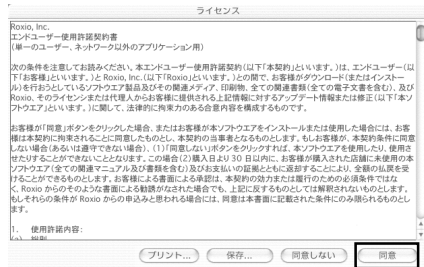
- 4 以下の画面が表示されます。「続ける」ボタンをクリックしてください。



2.1 ソフトウェアのインストール

2.1.2 Mac OS 9.2 ~ 9.2.2 環境の場合

- 5 「使用権許諾契約書」の画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意」ボタンをクリックしてください。



内容を確認し、同意する場合は「同意」をクリック

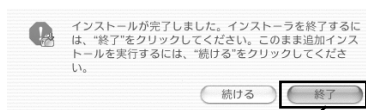
ここで「同意しない」をクリックするとインストールが中止されます。

- 6 以下の画面が表示されます。「インストール」ボタンをクリックしてください。



「インストール」をクリック

- 7 インストールが実行され、終了すると以下の画面が表示されます。「終了」ボタンをクリックしてください。



「終了」をクリック

以上でソフトウェアのインストールは終了です。いったん Toast 6 Lite を終了し CD-ROM をドライブから取り出しておいてください。次に本製品の接続を行います。「2.2 接続の手順」へお進みください。

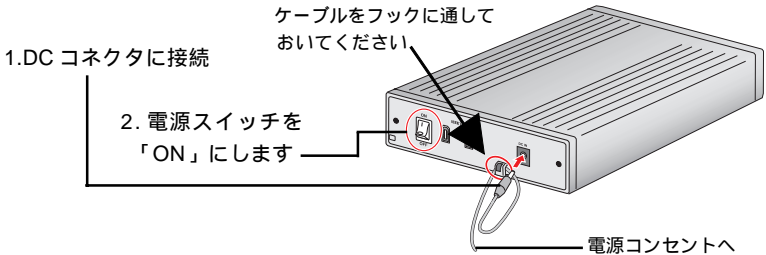
2.2 接続の手順

ソフトウェアのインストールが終了したら、以下を参考に本製品の接続を行ってください。

接続の手順

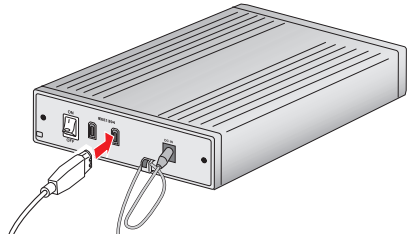
付属の AC アダプタを使用して、本製品の DC コネクタと電源コンセントを接続し、背面の電源スイッチを「ON」にしてください。

ACアダプタのコードは引き抜け防止のため、下図のようにケーブル抜け防止フックにかけておいてください。

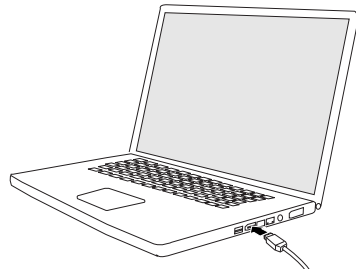


本製品に付属の FireWire ケーブルを接続します。

ここで使用しないコネクタは、FireWire 機器の増設を行うときに使用できます。



FireWire ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体の FireWire ポートに接続します。以上で接続は終了です。



ご使用の Macintosh シリーズにより FireWire ポートの配置が異なります。詳しくは Macintosh に付属のマニュアルをご確認ください。



ご注意

- ・接続の際、必ず最初に本製品の電源をONにしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。
- ・本製品はバスパワーで使用することはできません。必ず電源コードをコンセントに接続してください。
- ・複数の FireWire 機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続するのはやめてください。トラブルの原因となります。
- ・複数の FireWire 機器を接続したい場合は、「4.3 FireWire 機器の増設について」をご参照ください。

2.3 接続結果の確認

ここまでの作業が終了したら以下の手順で本製品が正しく認識されているかを確認してください。

Mac OS X 環境の場合

「2.1 ソフトウェアのインストール」でインストールした Mac OS X 用ライティングソフトウェア「Toast 6 Lite」を起動してください。メニューバーの「レコーダ」より「レコーダ設定」を選択してください。「レコーダ設定」ウィンドウが表示されますので、「基本設定」タブ内のレコーダの欄で本製品のドライブ名「PIONEER DVD-RW DVR-107D」があれば、本製品は正常に認識されています。「PIONEER DVD-RW DVR-107D」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。これで本製品が「Toast 6 Lite」で書き込みドライブに設定されます。

Mac OS 9 環境の場合

「2.1 ソフトウェアのインストール」でインストールした Mac OS 9 用ライティングソフトウェア「Toast 5 Lite」を起動して、メニューバーの「レコーダ」から「レコーダ情報」を選択し、「レコーダ情報」ウィンドウでポップアップメニューに本製品のドライブ名「PIONEER DVD-RW DVR-107D」があれば、本製品は正常に認識されています。「PIONEER DVD-RW DVR-107D」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。これで本製品が「Toast 5 Lite」で書き込みドライブに設定されます。

確認が完了したら作業は終了です。これで「Toast Lite」を使用して、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW、CD-R/RWメディアへの書き込みを行うことができるようになりました。

第3章

取り扱いについて

3.1 メディアのセット/取り出しについて

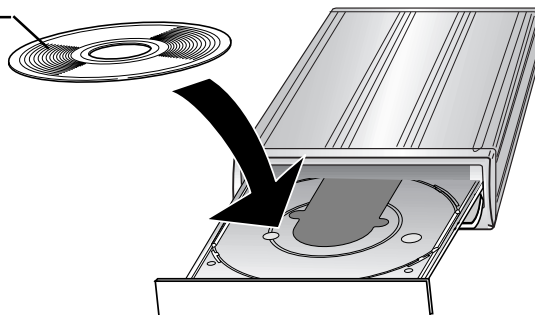
メディアのセット方法

メディアをセットするときは、本製品の電源がONになっている状態でイジェクトボタンを押してください。トレイが排出されますので、メディアをタイトルなどが印刷されている面を上にして乗せてください。

トレイを軽く押し込むと、トレイが格納されメディアがセットされます。

メディアを取り出す際も、同様の手順でトレイを排出するか、デスクトップ上で本製品のアイコンをゴミ箱に重ねてください。

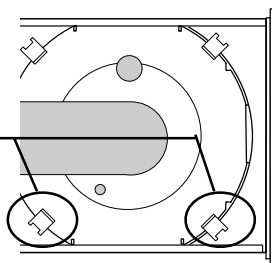
タイトル面を上にします。



縦置きで設置した場合のご注意

本製品を縦置きで設置した場合は、メディアをセットする際にトレイ下部の2カ所のツメでメディアを支えるようにしてください。

ツメ

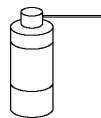


縦方向で設置した場合、8cm ディスクは全て使用できません。ご注意ください。

3.1 メディアのセット/取り出しについて

！ ご注意

- ・本製品でカートリッジ付きDVD-RAMメディアをご使用になる場合は、カートリッジから取り出して直接メディアを本製品にセットしてください。TYPE1のDVD-RAMメディアはカートリッジからメディアの取り出しはできませんので、本製品では使用できません。
- ・メディアをセットしたまま本製品を移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。
- ・DVDメディアにはラベルを貼付しないでください。メディアが偏重心を起こし、正常に読み取れなくなる場合があります。
- ・メディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナでエアを吹き付けて、メディアとトレイの清掃を行ってください。
- ・トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。



ダストクリーナ

3.2 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてFireWireを採用しているため、ホットプラグ（パソコン本体の電源がONの状態での取り付け・取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。取り外しの際は、以下の点にご注意ください。

- ・書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。
- ・DVD/CDメディアをマウントしている状態では取り外しを行わないでください。取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。
- ・本製品や併用しているFireWire機器のアクセス中に、取り外してはいけません。
- ・パソコン本体がスリープ状態になっているときは取り外しを行わないでください。
- ・本製品を取り外す場合は、FireWireケーブルのパソコン本体側のコネクタを先に取り外してください。

第4章 補足事項

4.1 トラブルシューティング

本製品がまったく認識されない。

- ・ ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。
- ・ 電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうかを確認してください。
- ・ 使用 OS のバージョンに問題はありませんか？
- ・ 本製品をハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに直接接続して試してみてください。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。

- ・ ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しませんでしたか？
本製品は必ずソフトウェアを起動する前に接続してください。
- ・ ライティングソフトウェアは最新版のものを使用していますか？
同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない。

「3.1 メディアのセット/取り出しについて」をご参照ください。

特定の DVD-ROM をアクセスできない。

- ・ そのメディアは DVD+R メディアではありませんか？ DVD+R メディアは Macintosh 環境では Mac OS X 10.3 以降でのみお使いになれます。
- ・ そのメディアは「2」以外のリージョンコードを持つ DVD ビデオではありませんか？ そのメディアは著作権者によって日本国内で再生することを禁止されていますので、本製品で再生することはできません。

本製品で作成した DVD ビデオが市販の DVD プレーヤーで再生できない。

- ・ 市販の DVD プレーヤーの中には、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW メディアに対応していないものもあります。本製品で作成した DVD ビデオが再生可能かどうかは、DVD プレーヤーに付属の取扱説明書等でご確認ください。

パソコン上でDVDビデオが再生できない。

- ・ SuperDrive/ コンボドライブ/DVD-ROMドライブを搭載していない機種では、本製品を使用してDVDビデオの再生はできません。
- ・ DVDビデオ再生用のソフトウェアはインストールしていますか？本製品にはDVD再生用のソフトウェアは付属しておりません。DVD再生用ソフトウェアがない場合、別途アップルコンピュータ社ホームページより入手していただく必要があります。
- ・ リージョンコード「2」以外のDVDビデオを再生しようとしていませんか？これは日本以外の国を対象としたDVDビデオですので、本製品では再生できません。
- ・ リージョンコードの書き換えを行っていませんか？

メディアの書き込み時にエラーが多発する。

- ・ 適切な使用環境で使用していますか？ 本製品の使用環境については、「4.2 使用環境について」をご参照ください。

その他：ホームページについて

弊社、およびロキシオジャパン株式会社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合もありますのでご利用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

ロキシオジャパン株式会社

ホームページアドレス：<http://www.roxio.co.jp/>

4.2 使用環境について

本節では本製品を使用する場合に必要なシステム環境(パソコン本体、メディアなど)の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下で本製品をご使用ください。

パソコン本体

アップルコンピュータ社

iMac (Flat Panel)
iBook G4
iBook (Dual USB 以降)
Power Mac G5
Power Mac G4 (AGP Graphics 以降)
Power Mac G4 Cube
Power Book G4
eMac

Power Mac G4 (PCI Graphics) は未対応です。
SuperDrive/ コンボドライブ/DVD-ROM ドライブを搭載していない機種では、DVD ビデオの再生はできません。

対応 OS

Mac OS X 10.2 以降
Mac OS 9.2 から Mac OS 9.2.2 まで

全て日本語 OS に限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

ご使用の際は、スクリーンセーバーおよび省電力設定は OFF にしてご使用ください。

推奨メディア

本製品での書き込みには、以下の各社から発売されているメディアおよび弊社ホームページで紹介しているメディアをご使用ください。これ以外のメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

< DVD-R メディア >

ソニー、太陽誘電 (That's)、TDK、日立マクセル、三菱化学メディア

8倍速書き込みを行う場合は、上記メディアメーカーの対応メディアをご使用ください。

< DVD-RW メディア >

日本ビクター、TDK、三菱化学メディア

< DVD-RW メディア > (4倍速書き込み)

日本ビクター、TDK

< DVD+R メディア >

ソニー、太陽誘電 (That's)、日立マクセル、三菱化学メディア、リコー、TDK

< DVD+R メディア > (8倍速書き込み)

ソニー、太陽誘電 (That's)、日立マクセル、三菱化学メディア、リコー

< DVD+RW メディア >

三菱化学メディア、リコー

< CD-R メディア >

太陽誘電 (That's)、リコー、TDK、三井化学、三菱化学メディア
日立マクセル、富士写真フィルム

< CD-RW メディア >

リコー、三菱化学メディア

⚠️ ご注意

- DVDメディア、CDメディア共に、書き込みの際には、書き込みを行うソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したメディアをご使用ください。
- DVDメディアにはラベル等を貼付しないでください。メディアが偏重心を起こし、正常に読み込めなくなる場合があります。

Windows 環境での使用について

本製品は別途 Windows 用ソフトウェアを購入することにより、FireWire (IEEE1394) ポートを搭載したパソコンでの使用が可能です。

詳細は、弊社ホームページをご参照ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス : <http://www.logitech.co.jp/>

アップルコンピュータ社製ソフトウェアについて

本製品は添付ソフトウェア以外にも、アップルコンピュータ社純正のソフトウェアが使用可能です。

DVD プレーヤ : DVD ビデオ再生ソフトウェア

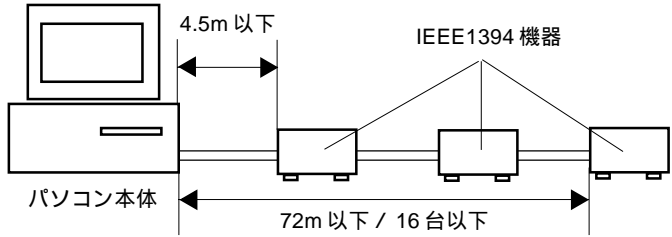
iTunes : 音楽 CD 再生ソフトウェア

SuperDrive/ コンボドライブ/DVD-ROM ドライブのいずれかが搭載されていない機種の場合、DVD ビデオの再生を行うことはできません。

iTunes を使って音楽 CD の作成を行うことはできません。

4.3 FireWire 機器の増設について

本製品のように FireWire コネクタを 2 個装備している FireWire 機器は数珠つなぎ（デージーチェーン型）に増設することができます。



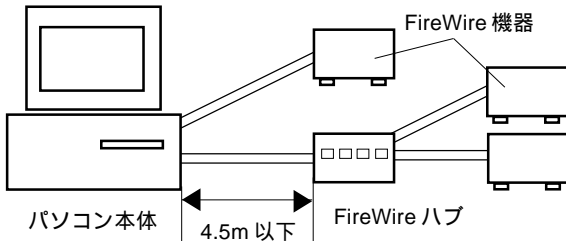
このような接続を行う場合、一本のケーブルの長さは最大 4.5m まで、ケーブル長の合計は最大 72m までに制限されます。また、FireWire 機器の台数は 16 台以下（パソコン本体を含まない）に制限されます。



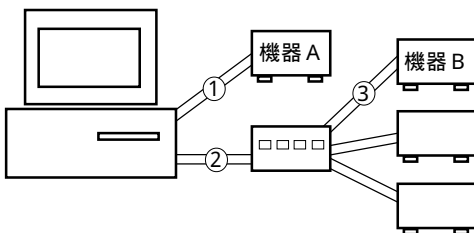
ご注意

デージーチェーン型に増設する場合、ホットプラグ（電源 ON 状態での取り外し）を行う機器は終端に接続してください。中間の機器をホットプラグで取り外すと、他の機器に影響を与える場合があります。

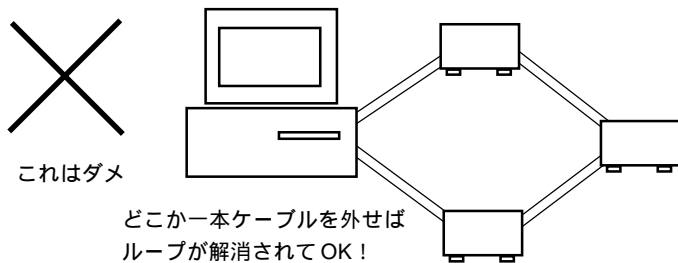
FireWire コネクタを複数装備したインターフェースボードや、FireWire ハブを使用すると、接続を分岐させて「ツリー型」に増設することができます。この場合も 1 本のケーブルは最大 4.5m 以下です。接続台数は 62 台以下（パソコン本体を含まない）です。



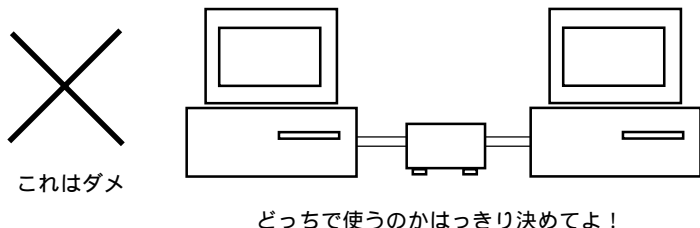
また、ツリー型の場合、FireWire 機器間で経由できるケーブルの本数に最大 16 本という制限があります。例えば下図の「機器 A」と「機器 B」の間には 3 本のケーブルが使用されています。このようにカウントしたときに、どの機器の間にも 16 本を越えるケーブルがあってはならないという制限です。



ツリー型の接続では接続形態が複雑になりがちですが、接続の中にループ（たどっていくと元に戻ってしまうような接続）があってはけません。



また、接続の中にパソコン本体が 2 台以上あってはいけません。



ハードウェア仕様

機種名		LDR - CA880F/ M
ローディング方式		トレイ方式
バッファメモリ		2MB
バッファアンダーラン機能		有り
インターフェース		IEEE1394a-2000
コネクタ形状		IEEE1394コネクタ 6ピン ×2
ドライブメーカー		PIONEER
書き込み 速度 *1 *2	DVD+ R	8 倍速 / 6 倍速 / 4 倍速 / 2.4 倍速
	DVD+ RW	4 倍速 / 2.4 倍速
	DVD- R	8 倍速 / 6 倍速 / 4 倍速 / 2 倍速 / 標準速
	DVD- RW	4 倍速 / 2 倍速 / 標準速
	CD- R	24 倍速 / 16 倍速 / 8 倍速 / 4 倍速
	CD- RW	24 倍速 / 16 倍速 / 10 倍速 / 4 倍速
読み込み 速度 *1	DVD- ROM (1 層)	最大 12 倍速
	DVD- ROM (2 層)	最大 8 倍速
	DVD ビデオ (CSS 有り) *3	2 ~ 5 倍速 (CAV)
	DVD- RAM *4	2倍速
	DVD+ R、DVD+ RW	最大 8 倍速
	DVD- R、DVD- RW (高速記録対応メディア)	最大 8 倍速
	DVD- R、DVD- RW (高速記録非対応メディア)	最大 2 倍速
	CD- ROM、CD- R	最大 40 倍速
	CD- RW	最大 32 倍速
記録方式	DVD+ R	Sequential recording 方式
		Multi-session recording方式
	DVD+ RW	Random Recording 方式
		Disc at once 方式
	DVD- R	Incremental recording 方式
		Multi Border 方式
	DVD- RW	Disc at once 方式
		Restricted Overwriting 方式
CD- R CD- RW	Incremental recording 方式	
	Disc at once 方式 / Track at once 方式 Session at once 方式 / Packet write 方式	
記憶容量	DVD+ R、DVD+ RW DVD- R、DVD- RW	片面ディスクで 4.7 GB 以下
	CD- R CD- RW	80分ディスクで 700 MB 以下 70分ディスクで 650 MB 以下

次ページに続きます

ハードウェア仕様

平均アクセスタイム		DVD - ROM : 140 ms	
		CD - ROM : 130 ms	
最大データ転送速度 (I/F) *5		400 Mbps	
メディアとの最大 データ転送速度 *5	DVD - ROM		最大 16200 KB / s
	DVD+ R DVD + RW DVD - R DVD - RW		最大 10800 KB / s
	DVD - RAM		2770 KB / s
	CD - ROM / CD-R		最大 6000KB / s
	CD - RW		最大 4800 KB / s
DVD - ROM 関係	フェーズ		フェーズ 2
	リージョンコード		2
環境条件 *6	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 90 %
入力電圧		AC 100V ± 10 % 50/ 60 Hz	
消費電力 (定格)		16.5 W	
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		158 × 50 × 252 mm *7	
質量		1.8 kg *8	
設置方向		水平 / 垂直	

- *1 DVDメディアは1385KB/sを標準速とし、CDメディアは150KB/sを標準速とします。8cmは水平時のみ使用可能となります。
記載されている速度は全てIEEE1394またはUSB 2.0 (High-Speed) での使用時のものです。USB 1.1接続でご使用の場合は、「DVDメディアへの書き込み/読み込み」が標準速度未満、CDメディアへの書き込み/読み込み」が最大8倍速に制限されます。また、DVDメディアへのビデオの書き込み/読み込みは未対応になります。
- *2 設定速度に対応したメディアをご使用ください。
- *3 CSSのないDVDビデオは最大12倍速で読み込みを行います。
- *4 カートリッジに入ったDVD-RAMメディアは使用できません。カートリッジから取り出して使用してください。また、2.6GB/5.2GBタイプのDVD-RAMメディアはお使いになれません。
- *5 理論値
- *6 ただし、結露なきこと
- *7 横置き時、突起部を除く
- *8 本体のみ

